参考文献について (TeX版)

参考文献

※ 電子情報通信学会の規則準拠

電子情報通信学会, "電子情報通信学会和文論文誌 投稿のしおり,"電子情報通信学会,https://www.ieice.org/jpn/shiori/iss 2.html,参照2019年3月

- 参考文献リストの作り方
 - 参考文献専用のコマンドがある(sectionコマンドを使用しない)ので注意。
 - 赤文字の変更する部分は、各自で変更
 - 1番目は、書籍の引用例
 - 2番目は、書籍の一部(ページ番号指定)の引用例
 - 3番目は、Webページの引用例

ダブルクォーテーションの記述は、

- ・左側:半角で「`」(shift+@)を2個
- 🧩・右側:半角で「'」(shift+7)を2個

1ページだけの場合は p.xxとなる。

\begin{thebibliography}{9}

\bibitem{tyosho} 著者名,書名,編者名,発行所,発行都市名,発行年.

\bibitem{hon_ichibu} 著者名, 实標題, "書名,編者名, pp.xx-yy, 発行所,発行都市名,発行年。

\bibitem{web} 著者名, ``Web ページタイトル ", サイト管理者名等, (\text{\text{Yurl{URL}}})参照年月日.

\end{thebibliography}

※ \begin{document} より上の行に \usepackage{url} が必要

具体例

参考文献

- [1] 山田太郎,移動通信,木村次郎(編),(社)電子情報通信学会,東京,1989.
- [2] 山田太郎, "周波数の有効利用,"移動通信,木村次郎(編),pp.21-41,(社)電子情報通信学会,東京,1989.
- [3] 著作権管理委員会, "本会出版物(技術研究報告以外)に掲載された論文等の著作権の利用申請基準," 電子情報通信学会, http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/files/chosaku_hyou3.pdf, 参照 Aug. 3,2009.

参考文献の引用(1)

- 参考文献リストを作っただけでは、引用したことにならない。
- 引用するコマンドを使用して、本文中に文献番号を載せる。
- 直接引用(レポートではあまり使用しない)
 - 参考文献に記載されている文章などをそのまま書く場合が該当。
 - 引用の分量が少ない場合は「」で囲む。

澤田は「説明や解釈を行うにあたって、自分のことばではなく、資料そのものとして語らしめるほうが、読者の理解効果をあげるためにはるかに有効だという場合に用いる」ものだと言う[1]。

• 引用の分量が多い場合は段を下げて書く(「」は不要、 quoteコマンド)。

どうして引用の仕方が重要なのだろうか.引用をするときのルールを守る必要性について、酒井は次のように説明している.

引用文は他人からの借り物であり、借りる際のルールを順守する必要がある.ルールを破ると、他人が収集した情報を借りるのではなく盗んだことになり、盗用・剽窃となって著作権法を侵害することになる。[1]

このように酒井は、引用のルールを破ることは他人の情報を盗む行為になり、法律に違反するため、適切な引用をすることが重要だと考えているのである。

参考:高橋祥吾,"文献引用の作法2016年改訂版," researchmap,国立研究開発法人科学技術振興機構知識基盤研究部,https://researchmap.jp/muz0ycmb9-1849043/?action=multidatabase_action_main_filedownload&download_flag=1&upload_id=106509&metadata_id=73369,参照Mar. 2019.

参考文献の引用 (2)

- 間接引用 (レポートではこちらが多い)
 - 参考文献の文章を要約し、自分の言葉として書く方法。
 - 文献で述べられている内容を理解し、誤りの無いように要約する。

その理由は、酒井によれば不適切な引用は、著作権を侵害するからというものであった[1].

- 引用のための文献番号記載
 - 文献番号専用の引用コマンドがある。
 - 引用する文献リストのbibitem{rrrr}を確認し、引用番号を入れたい場所にコマンドを記述する。

その理由は、酒井によれば不適切な引用は、著作権を侵害するからというものであった ~\cite{rrrr}.

• 句読点の前か後ろかは、引用方法によって異なるので注意する。